

## “神戸居留地コース探訪”

日時：令和5年11月9日（木）

今回は出席者28名で9時50分に神戸市役所に集まり、KOBE観光ガイドボランティア4名の案内で、神戸居留地を探索した。神戸居留地は1868年外国人のための住居や事業の場として設けられた。

英国人技師ハートが設計し、伊藤俊輔（博文）当時の神戸市長と協議し、126区画のプランで現在に至るまで整備された「オシャレな街」として賑わっている。また、1909年日本初のマラソン大会が開催され日本人が優勝した。11時30分に大丸前で解散した。



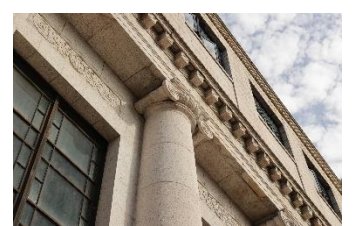
・居留地：500m×500m、甲子園6.6個分、126番地、電線がなく、歩道と車道が区別されている。世界の有名ブランドが揃っている。

・博物館：工事中。古典主義様式の建物。

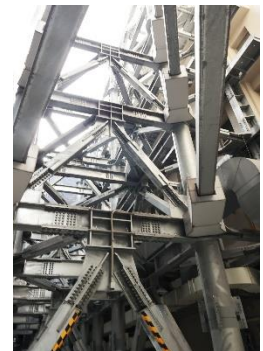
・旧神戸居留地15番館：米領事館として使用されていた。国指定重要文化財。（株）ノザワの所有で、水道の様式が残っている。



・旧神戸居留地38番館：イオニア式円柱が4本並んだアメリカン・ルネサンス様式の建物で、旧外資系の銀行。

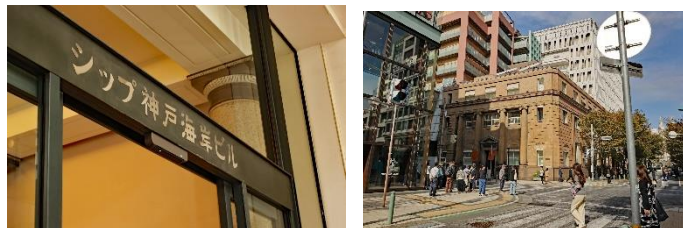


・商船三井ビルディング：大阪商船神戸支店。大林組が建設。2013年に耐震構造を設置した。





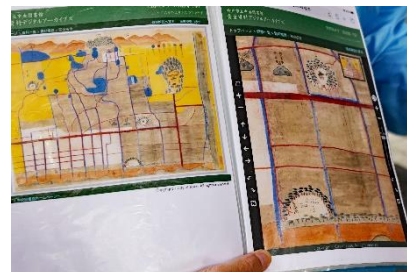
・海岸ビルディング：神戸郵船ビル、チャーターードビル新港ビル、同和火災海上ビルなど。シップ神戸海岸ビルはドーリス式の円柱の建物。



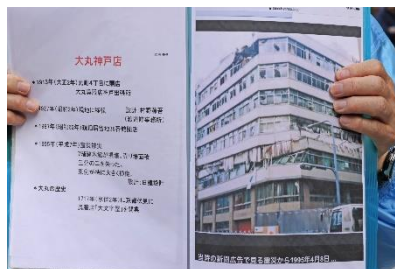
・オリエンタルホテル：1954年にマリリン・モンローが宿泊した。

・三井物産の建物：1918年に海岸通りあるビルで、グラマンの機銃掃射の跡がある。

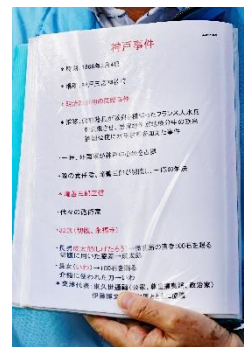
・旧神戸居留地18番館：VALENTINOが入っている。そこでレオネードが耐コレラ用としてラムネの本格的製造を行った。その向かい側に火の見櫓あった。墓地もあった。



・大丸：1717年に創業し1927年に元町から三宮に移転した。阪神・淡路大震災あと、建替え現在の新しい建物となった。



・三宮神社：1868年2月4日に三宮神社備前で藩兵が隊列横切ったフランス人水兵を負傷させた責任を取って滝善三郎は切腹（神戸事件）。



11時30分に解散後は、隣接する南京町中華街で各班別々に昼食をとり、親交を深めた。

